

# 金谷茶まつり

## 2年に1度の大祭り 「金谷茶まつり」のいわれ

「みどり自慢の茶の芽がそろった、茜だすきの手もそろった」：金谷茶まつりは紺がすりの着物に茜だすきの茶娘千人余が踊る茶娘道中をはじめ、屋台道中、大井川川越し太鼓道中などが通りに練り出し、新茶の季節到来を告げるまちを挙げての大イベントです。

昔から、一番茶が終わると茶農家や茶工場で働く人たちは「ほいろあげ」という、お茶に感謝の意を込めた慰労会を行っていました。この「小さな感謝祭」が今日の茶まつりを始め「契機」となったと言われています。

昭和二十七年、商工会の有志によって始められた茶まつりは、年々華やかさを加え、今や「茶処」を象徴する一大行事に

発展してまいりました。祭りのメインである茶娘道中は、かつて新茶の摘み取り時期になると専業農家はもとよ

り、町内外の茶摘み衆が「茜だすきに管の笠」と唄われる「茶摘み衣装」に身を包み、揃って茶畑に練り出した様子を再現したものです。

茶娘が「ちゃつきり節」などに合わせて踊りを披露するもので、市の伝統芸能として継承されており、全国的にも注目されています。

また、会場には新茶サービスや伝統的な「手揉み茶」の実演・体験、金谷特産品の紹介・販売などお客様への「もてなしコーナー」がたくさん用意されています。

### イベントのご案内

#### 茶娘道中

茶娘道中は10:00から12:30まで市内の各所で披露されます。姉さんかぶりと茜だすきにカスリの着物姿のかわいい子供の豆茶や茶娘が、目抜き通りなどを練り歩き、「ちゃつきり節」「金谷音頭」などの曲に合わせて華やかに踊りが披露されます。特に13:15から14:45まで開催される茶娘合同踊りは、総勢千人余が参加し、JR金谷駅前の通りに約400メートルの間にずらりと並び観光客の目を楽しませます。



#### 屋台道中

屋台道中は住民総参加を呼び掛けて昭和62年から始まりました。金谷地区を6ブロックにし、それぞれ500人余の人がそろいの法被姿で、勇ましい掛け声や踊りを披露しながら屋台を引き回します。呼び物は2台の屋台が道の真ん中で出会う「屋台正面づけ」。それぞれの屋台代表が口上を述べ合い、合図と共に屋台の位置をずらして2台が無事すれ違おうと見守る観光客から大きな拍手が沸き起こります。屋台道中は15:45から21:00まで開催されます。



#### 川越し太鼓道中

金谷には、昔から習わしとして、正月に子供たちが太鼓をたたいて競い合う遊びがありました。その力強く勇壮なリズムは、徳川家の陣太鼓がルーツとされています。伝統の正月太鼓の迫力を再現するため、昭和47年に「大井川川越し太鼓保存会」が発足し、今に至っています。江戸時代の単純なリズム以外に、現代風にアレンジされた新しい形が創りだされ、その中にかつての力強い迫力が再現され、各地で演奏されます。



#### もてなし広場

金谷南地域交流センターなど3ヶ所の「もてなし広場」では、お茶の手揉みの実演やお茶のサービス、地場産品の販売、ミニ製茶機の実演などが開催されます。また、3ヶ所に設置されたスタンプをすべて集めて抽選すると、新茶や地場産品などが当たる催しも開催され、観光客の皆様のご来場を心待ちにしております。もてなし広場とスタンプ抽選は、10:00から17:00まで行われています。



話題の「ブログ」で茶まつり情報を連日配信中!



〈URL〉 <http://www.chamatsuri.com>

当日は動画配信で生中継もご覧になれます!